

**「成長、雇用及びディーセント・ワーク（適切な仕事）
に関する ILO アジア地域フォーラム」結果概要**

1. 開催期間・場所

平成 19 年 8 月 13 日（月）～ 14 日（火）
北京市中国大飯店（チャイナワールドホテル）

2. 我が国からの主な出席者

政府側：柳沢厚生労働大臣、松井厚生労働省総括審議官
労働者側：中嶋連合国際代表
使用者側：鈴木日本経団連国際協力センター参与

3. 会合の趣旨

昨年 8 月から 9 月にかけて韓国・釜山で開催された第 14 回アジア地域会合において、「アジアにおけるディーセント・ワーク（適切な仕事）の実現に向けた十年」が宣言されるとともに、その具体的な取組の一つとして、ILO は「成長、雇用及びディーセント・ワーク（適切な仕事）に係る地域会合」を開催することとされた。本フォーラムは、これを受けて開催されたものである。

4. 概要

(1) 本フォーラムにおいては、アジア各国からの大臣級の出席者が、自国の労働政策の課題とその対応について発言し、幅広く情報交換を行った。

「ディーセント・ワーク（適切な仕事）の実現に向けた 10 年への展望～2015 年までの成長と雇用～」をテーマとする円卓会議においては、山本 ILO アジア太平洋地域総局長、鈴木 ICF TU アジア太平洋地域組織書記長、鈴木日本経団連国際協力センター参与及び谷垣前財務大臣がスピーチを行い、経済成長とディーセント・ワーク（適切な仕事）の関係について議論がなされるとともに、柳沢厚生労働大臣が、高齢化への雇用面での対応に関し、我が国の経験等について発言を行った。

また、パラレル・ワーキング・セッションでは、松井厚生労働省総括審議官及び中嶋連合国際代表が、ディーセント・ワーク（適切な仕事）に立脚した生産性の向上と競争力の維持に関してプレゼンテーションを行った。

(2) さらに、各国政労使による経験や知恵の共有を支援するための手段として、ILO 事務局により提案されたアジア知識ネットワークの構築について、意見交換が行われた。